

令和6(2024)年10月10日 (木)
令和6年度第1回栃木県認知症対策推進会議

認知症施策総合推進事業について



○栃木県高齢者支援計画 「はつらっプラン21（九期計画）」

計画期間：令和6（2024）年度
～令和8（2026）年度

団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者人口がピークを迎えることが見込まれる令和22（2040）年を見据え、県や市町が目指すべき今後の高齢者支援施策の方向性を示すために策定。

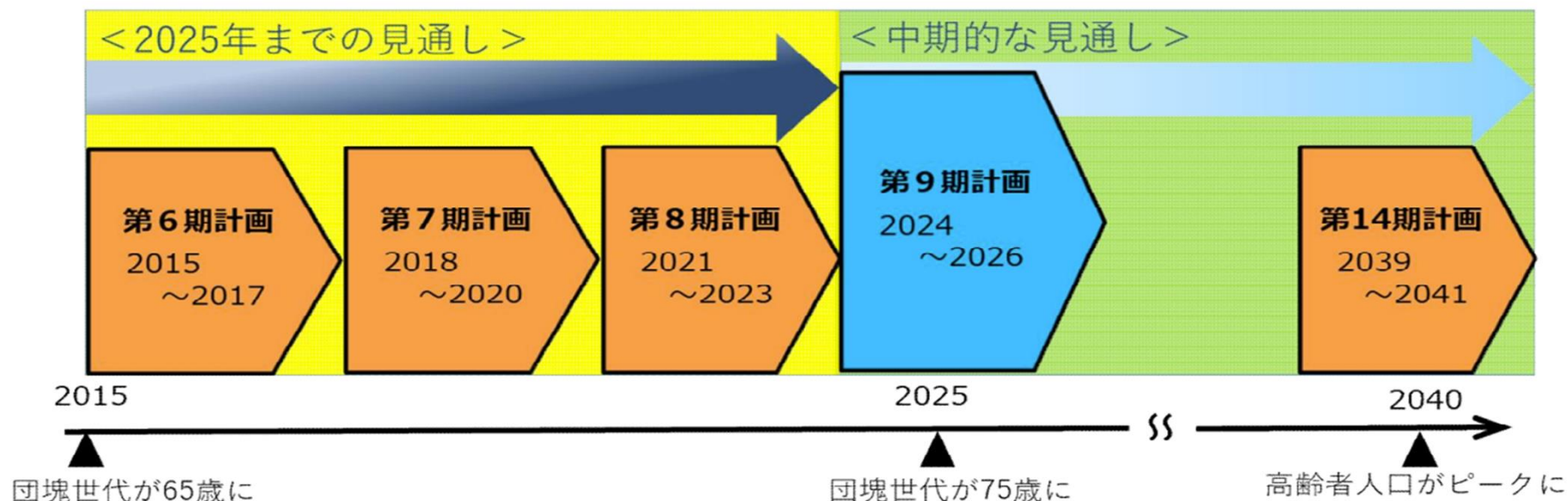


基本目標

「とちぎで暮らし、長生きしてよかったと思える社会」の実現

基本的考え方

- 地域の実情に応じた医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図る。
- 医療と介護の連携の深化や、介護サービスの質の向上、介護人材の確保・育成及び地域支え合いの体制づくりのほか、認知症施策の推進や必要な施設整備に取り組む。
- 市町の保険者機能を強化し、高齢者の自立支援や重度化防止の取組を推進するため、市町の実情に応じた伴走型の支援に取り組む。



はつらつプラン21（九期計画）の体系及び施策の方向（主なもの）

第1章 生きがいくりの推進

- 社会参加の促進
「とちぎ生涯現役シニア応援センター（ぷらっと）」の取組等による社会参加の促進
- 学習機会の提供
栃木県シルバー大学校において体系的な学習機会を提供

第2章 介護予防・日常生活支援の推進

- 介護予防・フレイル予防の推進
介護予防・フレイル予防の重要性の普及啓発、加齢性難聴の理解促進
とちぎフレイル予防アドバイザー等を活用した地域の介護予防活動を支援
- 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進
健康長寿とちぎづくり県民運動「人生100年フレイル予防プロジェクト」事業の推進
- 地域における支え合いの推進
生活支援コーディネーターの養成と活動の活性化促進
市町が実施する介護者交流会や介護教室の運営等に対する支援
- 地域包括支援センターの機能強化
センター職員の更なる資質向上を図るための研修の充実
高齢者の自立支援に資する地域ケア会議のための研修開催や専門職等派遣

第3章 介護サービスの充実・強化

- 介護サービスの基盤整備
在宅での自立した生活を継続するためのサービスの充実
在宅での生活が困難な高齢者に対応した施設整備の推進
- 介護サービスの適正な運営
介護支援専門員の専門性の向上を図るための研修の実施や、地域の社会資源の効果的活用に向けた体制整備の促進
市町が実施する介護給付適正化事業の推進に係る支援

第4章 在宅医療・介護連携の推進

- 在宅医療・介護連携に係る普及啓発
人生会議（ACP）に関する啓発の実施
- 在宅医療・介護連携に係る人材確保・育成
在宅医療に携わる医師、看護師、歯科医師、薬剤師等医療従事者の確保・育成及び質の向上

第5章 認知症施策の推進

- 認知症に関する理解の促進と本人・家族への支援
認知症月間等に呼応した普及啓発活動の推進
（公社）認知症のひとと家族の会栃木県支部等と連携した認知症の本人や家族への支援
- 認知症の早期発見・早期診断及び早期対応に向けた体制の構築
認知症疾患医療センターや地域の医療機関・相談支援機関と連携した認知症医療体制の構築
- 若年性認知症への対応
地域住民や事業者等に対する若年性認知症への理解促進や、若年性認知症コーディネーター等と連携した就労・社会参加等のための切れ目のない支援体制の推進

第6章 介護人材の確保・育成

- 多様な人材の確保
介護人材養成に向けた修学資金等の貸付
訪問介護員養成のための研修受講費用の助成
介護支援専門員の資格取得に係る研修受講費用の助成
特定技能外国人を受け入れる事業所へのマッチング、定着支援
- 人材の育成・資質の向上
適切なキャリアパス・スキルアップを図るための研修の実施
- 労働環境・処遇の改善
介護ロボット、ICT機器の導入支援事業等による業務の効率化

第7章 安心・安全な暮らしの確保

- 成年後見制度等の利用促進
- 高齢者虐待防止対策の推進
- 防災対策
- 感染症対策

栃木県認知症施策の体系

1

- 認知症に関する理解の促進と
本人・家族への支援

2

- 認知症の早期発見・早期診断及び
早期対応に向けた体制の構築

3

- 認知症対応力の向上

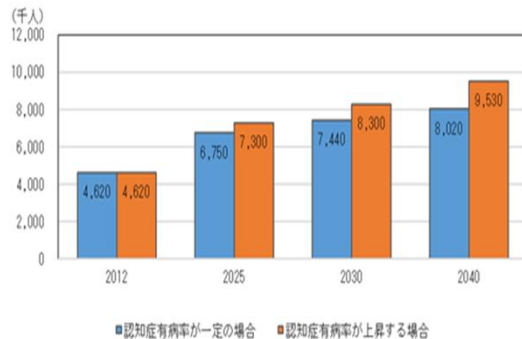
4

- 若年性認知症への対応

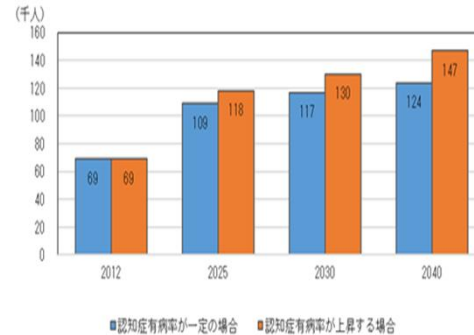
認知症施策の現状と課題及び令和6年度の主な取組

現 状

全国の高齢者人口に対する認知症高齢者数の将来推計



左記の推計を本県の状況にあてはめたもの



【厚生労働省「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」【参考】認知症の人の将来推計について(2015)及び県内市町の高齢者数推計に基づき推計】

本県の取組状況

県高齢者支援計画「はつらつプラン21(九期計画)」における各種目標値について

評価指標	目標値(2026年度)	現状値(2022年度)
とちぎオレンジドクター登録数	270人	208人
医療従事者の認知症対応力向上研修終了者数	7,170人	5,214人
認知症介護研修終了者数	5,962人	5,210人
チームオレンジ等を整備した市町数	25市町	19市町
本人ミーティングを実施している市町数	25市町	8市町
認知症地域支援推進員の配置数	185人	139人

令和5(2023)年度の主な実績

- とちぎオレンジドクターの登録(18名:223名)
- 認知症サポート医の養成(18名:290名)
- チームオレンジ設置市町数(8市町→19市町)

課 題

認知症の人や家族の視点を重視した施策の推進

- 認知症の人が尊厳を保持し希望を持って暮らせる地域づくりの推進

認知症医療連携体制の充実

- 地域における医療や介護等関係機関による支援体制の充実

市町への支援

- チームオレンジ設置及び認知症地域支援推進員の活動等を支援

令和6(2024)年度の主な取り組み

1.認知症に関する理解促進と本人・家族への支援

- 認知症対策推進会議の開催
- 認知症電話相談、認知症家族介護者向け介護教室の実施
- 本人ミーティングの開催、チームオレンジの整備や活動促進のための市町支援
- 認知症当事者による出張どこでも認知症カフェの開催
- 認知症月間等に呼応した普及啓発の実施
- 高齢者権利擁護研修の実施

2.認知症の早期発見・早期診断及び早期対応に向けた体制の構築

- 認知症疾患医療センターの運営(県内10カ所)
- 認知症初期集中支援チーム員や認知症地域支援推進員の研修の開催
- とちぎオレンジドクター登録・周知
- 市町認知症施策推進連絡会等の開催

3.認知症対応力の向上

- かかりつけ医、歯科医師等向に対する認知症対応力向上研修の開催
- 認知症介護施設等の職員向けの認知症介護研修事業の実施

4.若年性認知症への対応

- 若年性認知症支援コーディネーターによる支援関係者向け研修会の開催
- 総合相談・ネットワーク会議による相談支援体制の整備

1. 認知症に関する理解の促進と本人・家族への支援

① 認知症対策推進会議の開催

本県の認知症対策を推進するための施策に関する総括的な役割を担う「栃木県認知症対策推進会議」の開催 R5実績：3回

② 認知症電話相談の実施

認知症の人や家族が抱える悩みや不安、介護に関する相談等に対応する電話相談及び来所相談の実施

電話相談：毎週月～金 13:30～16:00 R5実績：148件

来所相談：毎月第4水曜日 13:30～16:00 R5実績：90件

③ 認知症家族介護者交流会の開催

認知症の人を介護している家族を対象に、介護に関する知識や技術等について学ぶとともに、介護者同士の交流を図る交流会を開催

〔委託先〕(公社)認知症の人と家族の会栃木県支部 R5実績：60名

④ 認知症サポーター養成講座等の開催

- ・ 広域の各種団体からの依頼に基づく講座の開催
- ・ キャラバン・メイト養成研修の開催

市町担当者等を対象に、認知症キャラバン・メイトを養成
R5実績：サポーター…793名 キャラバン・メイト…87名



1. 認知症に関する理解の促進と本人・家族への支援

⑤ 出張どこでも認知症カフェの開催

認知症当事者による、
移動認知症カフェの開催

〔委託先〕 認知症の人と家族の会栃木県支部

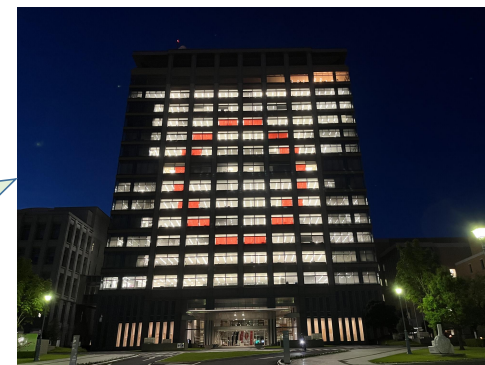
R5実績：3箇所 117名



⑥ 認知症月間等に呼応した普及啓発の実施

- ・ とちぎまるっとオレンジプロジェクト事業の実施
広報媒体等を活用した、認知症の理解を深める
ための普及・啓発
- ・ その他

認知症の日（9/21）に合わせて、
県庁舎をオレンジリングで装飾
令和6（2024）年9月20日～23日



⑦ 高齢者権利擁護研修の実施

- ・ 高齢者の権利擁護に係る取組を支援するため、研修会開催に係る経費を助成
- ・ 市町及び地域包括支援センター職員向けに、高齢者虐待対応研修を開催
- ・ 市町が実施する市民後見人養成のための研修や、活動推進に関する事業等への助成

2. 認知症の早期発見・早期治療に向けた体制の構築

① 認知症疾患医療センターの設置・運営

県内10箇所の病院に認知症疾患医療センターを設置し、下記業務を委託により実施。

〔委託内容〕

専門医療相談、鑑別診断、研修会等の開催、認知症疾患医療連携協議会の開催、診断後の認知症の人や家族に対する相談支援等の実施など

② 認知症初期集中支援チーム員研修事業

認知症の人の早期診断・早期対応に向けて各市町が設置する認知症初期集中支援チームのチーム員として必要な知識を習得するための研修参加受講料を負担

R6養成予定数：30名（R5実績：16名）

③ 認知症地域支援推進員研修事業

市町が配置する認知症地域支援推進員に対し、その役割を果たすための知識・技術の習得及び向上を目的に開催される研修参加受講料を負担

R6養成予定数：40名（R5実績：46名）

2. 認知症の早期発見・早期治療に向けた体制の構築

④ 認知症サポート医養成研修事業の実施

認知症の診療に習熟し、かかりつけ医等への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となるサポート医を養成

R6養成予定数：45名 (R5実績：18名)

⑤ 認知症医療連携体制の構築

◆もの忘れ・認知症相談医登録事業

身近な医療機関で気軽に相談できる

「もの忘れ・認知症相談医（とちぎオレンジドクター）」の登録・周知

〔委託先〕（一社）栃木県医師会

〔登録要件〕認知症サポート医 等 (R5実績：18名)

◆登録医・センター連携強化事業

認知症疾患医療センター等の専門医を講師として、登録医を対象とした研修会の開催

〔委託先〕（一社）栃木県医師会



2. 認知症の早期発見・早期治療に向けた体制の構築

⑥ 市町の認知症施策を支援するための連絡会の開催 各市町の課題や県内外の先進事例を共有するための連絡会の開催

〔対象者〕 市町認知症施策担当者

⑦ 認知症地域支援推進員の活動促進

認知症地域支援推進員の活動を促進するため、連絡会の開催や、認知症地域支援推進員の役割や配置先一覧を記載したチラシの作成及び配付等



3. 認知症対応力の向上

○ 認知症対応力向上研修 修了者数

区対象区分	R 3	R 4	R 5	累計	備考
かかりつけ医	23名	23名	24名	818名	
歯科医師	18名	11名	19名	357名	
薬剤師	29名	29名	50名	614名	
看護職員	62名	59名	72名	574名	
病院勤務従事者	0名 (中止)	75名	247名	3, 263名	
病院勤務以外従事者	—	—	326名	326名	
介護従事者	785名	590名	2, 220名	10, 385名	

4. 若年性認知症への対応

